

京都第一赤十字病院で救急診療を受けられた患者様・ご家族の皆様へ

偶発性低体温症に関する調査へのご協力をお願い

今回、京都第一赤十字病院は、偶発性低体温症に関する研究「偶発性低体温症を呈する救急患者に関する多施設後顧的観察研究」を実施いたします。そのため、過去に京都第一赤十字病院で偶発性低体温症に対する治療を受けられた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。

研究の目的

偶発性低体温症とは意図せず体温が35℃以下に低下した状態です。偶発性低体温症とは典型的には寒冷地域の冬に起こるが、温暖な気候の地域の夏にも起こり得ます。死亡率は約30%と非常に予後が悪い状態で、特に高齢者は偶発性低体温を来たしやすく、高齢化が進む日本では重要な問題のひとつです。偶発性低体温症の原因やその治療は多様ですが、その有効性や予後に関しては不明な点が多く、この研究を通して、発生、治療、転帰に関わる因子を多面的に分析し、その発生・予防・予後改善に寄与することを目的とします。

研究の方法

・対象となる患者様について

平成23年4月1日から平成28年3月31日までの間に、京都第一赤十字病院救急外来で診療を受けられた患者様が対象となります。

・方法について

対象となる期間に偶発性低体温性を罹患した患者様のカルテを調べ、その診察内容を調査させていただきます。

・資料の管理について

情報はすべて匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合でも個人が特定されることはありません。

*ご希望があれば、個人情報の保護及び本研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができます。その場合は、下記連絡先までご連絡をお願いします。

*ご自分、あるいはご家族の情報を本研究に登録したくない場合は、平成29年3月31日まで

に下記連絡先までご連絡ください。なお上記までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、京都第一赤十字病院倫理審査委員会において、適切な研究であると承認されています。この研究計画についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先

京都第一赤十字病院 救急科

榎原巨樹（主任研究者）・竹上徹郎（部長）

電話：075-561-1121